

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (東北)	良く なっている	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・天気は芳しくないが、売上、来客数共に前年を超えている。3か月前に比べ単価が上がり客の購買力が大きく向上している。
	やや良く なっている	一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	単価の動き	・単価の動きが良くなっており、前年比で100円ほど上昇している。個数はそうでもないが単価が良いので売上は上昇傾向にある。
		スーパー(物流 担当)	単価の動き	・チラシ販促強化による価格競争は変わりなく続いているが、来客数の増加までにはいたっていない。そのような状況でも客の購買数、客単価が上がってきており、幾分景気は良くなってきているようである。
		コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・来客数が前年比99%と伸び悩んでいるが、買上点数が105%、客単価103%と、こちらは良好である。7月に入ってからの天候により、ソフトドリンク、アイスの売上が前年割れをして足を引っ張っているが、全体的な雰囲気は悪くはない。
		コンビニ(エリ ア担当)	単価の動き	・数量限定プレミアム商品が即完売するなど、品質が良く話題のある商品への購買意欲は確実に向上している。
		家電量販店(店 長)	来客数の動き	・前年同月と比べると来客数はやや増えているが、単価の下落があるので、売上は横ばいである。
		家電量販店(店 長)	単価の動き	・テレビの需要が下げ止まり、前月あたりから前年の売上に匹敵する数字が出るようになってきており、4Kテレビなど、話題の商品で単価が高いものが売れてきている。今月は少し寒いせいでエアコンの需要が伸びていないが、それでも白物家電は冷蔵庫も含めて好調であり、単価も高い。消費税増税を考えると今から買っていくという客も増えつつある。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車の受注、販売共に法人需要と新型車効果に支えられ、回復局面に入ったものとみられる。しかし、やはり、エコカー補助金の反動を乗り越えることができず、下げ幅は圧縮傾向にあるものの、前年に対し10%前後の落ち込みとなりそうである。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新型軽自動車の販売が好調に推移している。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車効果があり、まだまだ販売量が増えている。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・土日の新規来店客が少し増えているようである。
		乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・消費税増税の話をきっかけに、新車に乗換えを検討される客が多くなってきている。
		その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕(営業担 当)	販売量の動き	・販売量が前年を下回らない。特に除染関係で軽油の販売が好調である。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・レストラン関係並びにデパート地下のデリカ各店については、利用人員が増加しており、個人消費については少しずつ上がっているという印象を受ける。しかし、今月は参議院選挙の影響を受け、法人関係の利用がストップしており、それが非常に残念である。
		タクシー運転手	販売量の動き	・近距離客が多いけれども、3か月前よりも大変多くの方に乗っていただいている。
		通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・各企業の業績が向上してきている。
		テーマパーク (職員)	単価の動き	・買上単価は上向き傾向が強く、客の購買意欲の高さがうかがえる。
		観光名所(職 員)	単価の動き	・今月は天候不順により船が運航できない日が2日あったため、来客数は減っている。しかし、来店した客に関しては、客単価が伸びている。来客数は減少したが、単価は上昇したということで、どちらともいえない状況が続いている。
		その他サービス 〔自動車整備 業〕(経営者)	単価の動き	・参議院選挙が終わり、来客数、販売額、単価のいずれも好調である。特に即決率が上がってきており、顧客の意識の変化がうかがえる。
		変わらない	商店街(代表 者)	お客様の様子

商店街（代表者）	販売量の動き	・一部に中元商戦の効果がみられるという店もあるが、全体的には梅雨明けが遅れていることもあってか来街者は伸び悩み、まだら模様の景況である。
商店街（代表者）	来客数の動き	・はっきりした天気はないが、雨の少ない日が続いている。飲食、ビアガーデン等はプラスになっているが、物販等の販売に少し陰りが出てきている。客単価は中央都市のように伸びておらず、来客数も客単価同様、横並びが少し低下しているような状況である。
一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・地方では昇給の厳しさや雇用の不安定が引き続きある。全体的には良いムードだが、消費マインドには直接結び付いていない。また、地方公務員が給与削減になっていることも大きい。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・選挙の月は繁華街に人は来ないと言われており、参議院選挙があったので非常に静かである。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・客単価がかなり落ちている。来客数も若干減少しているが、それ以上に客単価の下落が大きい。これは、一般的に客が出費を抑えているということではなく、一部の高額なまとめ買いをする客が失われたためである。よって、一概に全般的な景気悪化と捉えることはできない。今のところ景気は横ばいとみられる。
一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・ここ数年、客の寝具に対する反応もいまいちである。この寒さと長雨のなか営業して回っても販売に繋がらない。
一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・高額商品の販売は横ばいで推移しているものの、低価格商品の販売量は減少傾向が続いている。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・今月だけでみれば、夏のセールを前月に前倒したため、厳しい状況ではあるが、2か月総体では、流れは変わらず推移している。中元商戦も各販売チャネルにより好不調はあるものの、ほぼ横ばいである。店頭から無店舗販売へと、消費者の購買動向の変化も徐々に出てきている。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・夏物クリアランスが盛り上がらない。フリー客や、クリアランスの勢いで購入する客が減少している。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・梅雨明けが遅れており少し減速気味であるが、特に変化は無い。
スーパー（経営者）	単価の動き	・1品平均単価は、食品値上げ等の浸透や、今の天候不順による冷菓及び飲料品の伸び悩み、農産品の単価上昇等もあり、5か月ぶりに前年をやや超えている。他方、既存店の来客数と買上点数は共に前年を若干割っている。それでも1品単価の上昇でどうにか売上は前年並みの推移で済んでいる。ただ、客の食品等への支出には慎重さがうかがえる。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・食品の原価の値上がりやガソリン等の値上げにより、依然として客の節約志向に変わりはない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、買上点数が前期割れで95%台となっている。必要なもの以外買わない防衛型の消費になっている。
スーパー（店長）	お客様の様子	・6月の既存店客数、単価、点数、1品単価はいずれも前年比ほぼ100%の実績である。ただし、日曜日が前年より1日多いことを考えると、この数値は実質98%の実績である。客の買物行動に大きな変化は見られない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数と買上点数の推移を見ても変わっていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客は商品を吟味して、必要なものしか買わない傾向がある。客単価が上がらず、厳しい状況が続いている。
スーパー（店長）	お客様の様子	・客の買上点数が変わらない。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に前年割れが続き、依然厳しい状況である。昨今の禁煙ブームか節約か、たばこの売上が減少している。また、悪天候の日が多く、アイスクリーム等の売上減が響いている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・惣菜や生鮮品などの販売増加により、客単価は前年を上回っているが、一方で天候不順で来客数は前年を下回って推移している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・梅雨明けが遅れていることもあるが、週末の来店数の伸長がみられない。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・景気上向きの実感があまりないことに加え、今月から一部食料品の値上げが始まっている。

衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・顧客には解雇や退職者が多い。当社でも退職者の中 途採用を募集したが、40歳以上の応募が多く集まっ た。失業者がいかに多いかを物語っている。
衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・固定客に代わり、行き場を失った新規客の来店はあるが、固定客の穴は埋められず、総合的にマイナスである。
衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・夏物のセールの盛り上がりも今一つで、まとめ買いの客が少ない。
衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・世間ではアベノミクスと騒がれているが、一般消費者には景気回復の実感はなく、購買活動が活発になっているとは考えられない。
家電量販店(店 長)	販売量の動き	・今月前半は気温も暑くなり、季節商材の販売が順調に推移したが、中旬からの天候不順で販売が鈍化している。
住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・小規模な店なので、来客数も少ないし、それに伴い 売上も少ない状態が続いている。旧態依然に仕事をして いるせいではないかと思っている。
その他専門店 [パソコン] (経営者)	販売量の動き	・現在の状況では商品の動きに大きな変化は見られ ない。商品の動きが大きくなれば単価を値引かれるた め、トータルでは良いとはいえない。
その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き	・お中元ギフト関連は例年よりもスタートが早かった が、売上はほぼ例年並みである。飲食店の販売量はこ こにきて苦しい。前半は天候にも恵まれ良かったが、 後半は豪雨の影響が大きく、被害が少ない地域では 飲食店への客足が急に鈍くなっている。この影響が 売上に大きく響くとみている。
その他専門店 [靴](従業 員)	販売量の動き	・梅雨が明けず気温が上がらないため、サンダル等の 夏物商材の動きが止まっている。大手は夏物クリアラ ンスを開始しているため、追従せざるを得ない。売 上、利益共に減少が見込まれる。
その他専門店 [酒](営業担 当)	来客数の動き	・参議院選挙もあり、地元の飲食店に影響が出てい る。仙台や東京等、都市部は特に影響がないので、そ ちらに重点的に営業を掛けた結果、前年と同じくらい の売上で落ち着きそうである。
その他専門店 [白衣・ユニ フォーム](営 業担当)	販売量の動き	・大雨災害等により、当初期待していたアロハやボロ シャツといった夏物があまり動いていない。これから 暑くなるにしろ完全に鼻をくじかれてしまった。
その他専門店 [ガソリンスタ ンド](営業担 当)	単価の動き	・原油価格と為替の動向で、仕入れ価格が小刻みに上 昇してきており、それに対応した末端市場への価格転 嫁が遅れているため、粗利益が減少してきている。企 業の収益が圧迫されてきている。また、店頭価格の上 昇により夏休みに入ってから燃料消費に消費者の節 約意識が出てき始めている。
高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・復興需要も落ち着き、あまり良い材料が見当たらない。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・来客数は前年を割っており、やや悪い状態が続いて いる。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・春から初夏にかけて徐々に景気が上向いているよう な感覚があったが、7月に入り、来客数が滞る日が目 立っており、足踏み状態である。まだまだ財布のひも は固いようである。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・月初は比較的良かったものの、参議院選挙の影響も あり、連休明けなどもあまり良くなく、可もなく不可 もなくといったような状態である。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・震災復興の団体客は完全に無くなっている。活動し ているのは週末3日くらいで、ウィークデーは非常に 厳しい。なお、料金へのこだわりは少なくなってきた いる。
観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・7月単月では売上が落ち込んでいるが、数か月の範 囲で見ると特に景気の流れに変化はない。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宴会や結婚式には大きな変更は無いが、7月に入り 長雨が続き、客の出足が非常に鈍くなっている。 また、ビールの消費量にも微妙に影響している。 天気が良かったり悪かったりの繰り返しで、ここに きて春と同じような状況になっている。
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・客室部門は、例年夏休みに入るとファミリーを中心 とした海水浴客でにぎわうが、現時点で梅雨も明けず 天候不順が続き、それに伴い予約も伸びない。逆に、 キャンセルや日程変更が見受けられる。

都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・婚礼は相変わらず低迷しているが、法要関連が伸びており、予算達成の第一要因となっている。レストラン、宿泊に関しては3か月前からギリギリ予算達成の状態である。	
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・客からはあまりお金を使いたくないという話が結構聞かれる。	
旅行代理店(店長)	お客様の様子	・ゴールデンウィークのころと比べて、特段の様子の変化はみられない。	
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・客の販売動向に変化が見られない。	
タクシー運転手	単価の動き	・ますます乗り控えが目立ってきている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・目的地の方にできるだけ歩いて、運賃を節約する客の様子がよく見られる。	
通信会社(営業担当)	来客数の動き	・来客数が極端に減っており、売上も前年比3割くらい低下している。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の購買意欲、設備投資意欲に前向きな改善は見られず、変化は無い。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客との商談においても、報道されているような好況感はなくうかがえない。円安差益にわく電機、自動車や、株高の恩恵を得られる証券、金融系、復興事業に支えられる土建業等の一部の業種以外は、以前の状況と変わらないのが現実である。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客訪問の際も「状況は変わっていない」という話を聞く。	
美容室(経営者)	単価の動き	・客単価は2月くらいからほとんど変わらない。いろいろやってはいるが、上乘せという部分はなかなか難しく、客の財布の締め具合に変わりはない。	
美容室(経営者)	お客様の様子	・「食品もガソリン代も値上がりしているので、今日は車ではなく歩いて来た」という客がいた。皆、できる範囲で節約しているようである。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・住宅の新築の仕事が続いている状況だが、まだ罹災された方の移転新築が大半を占めている。	
住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・相変わらず消費税増税前の駆け込みもあり、受注量は安定している。ただし、建築単価が上昇しているため、客単価は変わらないが建築規模が若干縮小している。	
その他住宅[リフォーム](従業員)	来客数の動き	・受付件数は前年を下回っており、問い合わせ自体も増えていない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・関東以西が早々と梅雨明けしたのに対して、長雨が続き、夏休みに入った子供達の元気も今一つで、親子連れの買物客もやや少ない。
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・来客数が減っている。また、クリアランスは盛り上がりには欠け、だらだらとした状態が続いている。
	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・今月はセールがある月だったが、競合店との影響や天候不順の影響もあって、売上高は前年に達しない厳しい状況が続いている。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・震災の影響で前々年、前年と売上を伸ばしてきた中元商戦の売上が頭打ちになってきている。衣料品についても、後半天候が不順な日が続きクリアランスセールの盛り上がりには欠けている。しかしながら、高額品については前年比2けた増と好調なので、景気全体が落ち込んでいるとまではいえない。
	百貨店(買付担当)	来客数の動き	・東北地方が梅雨時期に入り、来客数は前年比90%前半で推移している。そのことが売上にもかなり影響している。
	百貨店(経営者)	来客数の動き	・天候要因であれば一過性なので良いが、被服を中心とした商品群が売れていない。参議院選挙は終了したが、消費税増税、電気料金値上げ等、不安要素が多く、購買意欲が衰退しているようでもある。地方と中央や10大都市とあまりにも格差、温度差がありすぎる。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・天候が安定しないため、来客数があまり伸びていない。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・天候の影響も加味してはいるが、3月以降、来客数の増加傾向は無い。
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・東北地方はまだ梅雨明けしておらず、毎日曇りや雨で、夏らしい天候にならないことが影響し、盛夏物やリゾートタイプの衣料品が動いていない。

	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・天候不順により、この時期に暑さで売れていくサマーの礼服や半袖のシャツ、替えズボンといったものが動かなくなってきている。また、クールビズが浸透して、スーツが売れない状況になっている。客が来店しなくなっており、厳しい状況が続いている。	
	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・東北以北の地域で梅雨明けが遅れ、客の夏物衣料購入へのモチベーションが下がり、例年よりも動きが鈍くなってきている。	
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・スーツはもちろんのこと、梅雨が長いために、ビジネスシャツ、スラックスなどのクールビズ用品が売れていない。	
	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・受注数が減少している。	
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・従来から選挙の月は良くない傾向にあるが、ほとんどの品目で売上は前年比で落ち込んでいる。景気の良い話もほとんど聞かれず、アベノミクスの地方への影響はうかがえない。	
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・耐久消費財を扱っているが、動きが鈍く、販売量も前年と比べて落ちている。受注量からして落ちており、良い状態ではない。アベノミクスの影響は我々の家具には及んでいない。	
	高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・いろいろな物価の上昇がじわりじわりとボディーローのように効いてきている。来客数には極端な上下動が見られる。	
	高級レストラン (支配人)	販売量の動き	・北東北においては夏季の需要への期待があったが、低温と多雨、参議院選挙等々の影響もありしぼんでいる。同時にボーナスなどの経済的な期待も不足したことで、上向きの消費活動は一時休止状態である。	
	観光型ホテル (スタッフ)	それ以外	・問い合わせは単価に関するものが多い。客はまず安価な物件から申し込んでいる。	
	観光型旅館(ス タッフ)	来客数の動き	・売れる日と売れない日がハッキリとしている。売れない日については、現状の施策では何をやっても売れない。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・震災被災地の復興特需で前年、前々年と来客数、法人利用数が突出していた。しかし、法人宴会数、問い合わせ数共に前年を下回り始め、来月以降の予約及び問い合わせ数も前年を下回り始めている。	
	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・販売商品メニューの見直しや新商品の投入等をしたが、3か月前の約半分の契約状況が続いている。	
	観光名所(職 員)	来客数の動き	・夏休みのシーズンに入ったが、降雨続きの影響もあり、来客数の少ない状況が前月より継続している。	
	遊園地(経営 者)	来客数の動き	・梅雨の長期化、天候不順で雨が続いたことの影響が大きく、前年を2割近く下回っている。子供会の動きも低調である。	
悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・低価格に消費者が慣らされていて、現状の円安等で小売店は板ばさみ状態である。	
	百貨店(売場担 当)	来客数の動き	・好天により売上の良かった6月から一転して、梅雨の降雨の影響で打撃を受けている。他店では6月末から夏物セールが始まり、当社のクリアランスセールが始まった7月中旬から後半は来客数も少なく大苦戦している。セール初日は前年比でトントンだったが、序々に失速し、日々の負けを土日でも上乘せすることができなかった。月末まで負けが込み、最終着地は前年比90%となっている。要因としては、雨の日が多くカラッとした夏日がほとんどなかったことで、夏物への購買意欲がわかなかつたことや既に他店のセールで購入したフリー客の来店が減ったことなどが挙げられる。	
	コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・今月はかなり悪い。原因の1つは天候不順だが、それがかなり大きく作用している。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数は3か月前と比べるとかなり少ない。前年だとこの時期もそこそこの予約はあったが、今回は少ない。	
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・サクランボのできが良くなかったことや豪雨による断水など、エリアにとって致命的なことが立て続けに起こったため、財布のひもが固くなっているようである。	
企業 動向 関連  (東北)	良く なっている  やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業(経 理担当)	受注量や販売量 の動き	・ここ3か月間、前年の売上を上回っている。

	建設業（従業員）	競争相手の様子	・今年度初めに発注された公共工事の受注が、順次確定してきている。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・顧客の継続契約案件において、入札が定例化してきているなかではあるが、特殊案件等で何とか受注数は増加傾向にある。
	その他非製造業 〔飲食品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前よりも取引先の売価そのものが安くなっており、それに伴い、我々の納価も安くなっている。その割にはなかなか量的に動いていない。しかし、以前よりも明るさが見られるようになってきている。
	その他非製造業 〔飲食品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・県内都市部及び首都圏向けの出荷が好調である。逆に、郡部や地方では参議院選挙による飲食自粛などの声が聞かれ、出荷に伸びがない。
変わらない	農林水産業（従業者）	それ以外	・さくらんぼの観光果樹園では、観光客が前年より1、2割多いようである。しかし、農機具店のセールスマンの話では、前年の今ごろと比較しても資本投資はほとんど変わっていないということである。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月も2、3か月前と比べて良い実績を上げている。ただ、牛タンは中元セールでも結構な売上が見込めるはずであったが、参議院選挙があったために中元セールの売上が予定に少し届かず、従来の伸びよりも悪い2、3%増程度の伸びとなっている。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中元商戦中であるが、参議院選挙もあったことから売上はあまり芳しくない。
	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量の回復が依然としてみられない。景気は上向き傾向であるが、一般消費者に届くにはもう少し時間が掛かるのではないかと懸念している。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・同業他社の様子を見ても、特段の変化はないようである。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・良い注文等は入ってきていない。
	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅部材の受注量が調整局面に入っており、やや停滞している。
	土石製品製造販売（従業員）	受注量や販売量の動き	・先日の大雨で東北各地土砂災害があった。道路の舗装工事やマンションの浸水工事が多々あるものの、一時的な発注工事であり、景気の動向に影響するものではない。
	一般機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・自動車部品については、売上は計画を上回る水準で推移している。しかし、価格についてはグローバルでの競争の激化により採算性が低下している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・中小製造業の様子を見ても、景気回復の兆しはうかがえない。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量及び販売量は増加傾向だが、個人への影響はまだ小さい。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・アベノミクスで景気に関する雰囲気は良いように報道されているが、地方ではあまり関係がない。
	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・出件数に対し、技術者不足の影響が顕著に現れており、対応にも限界が出てきている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物量が前年を下回る状況が続いているほか、軽油価格の値上がりが続いており、震災直後よりも厳しくなっている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・自動車関連など円安の影響をうけている業種は好決算だが、沿岸部は依然として震災復興から回復しているとは思えない状況である。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・前月と変わらない。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・海フェスタやデスティネーションキャンペーンで活気付いてきている。メガソーラー関連は好調である。
	金融業（広報担当）	取引先の様子	・売上高も増加しているが、経費も増加している。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・選挙広報に関わる売上は増加したが、他の売上は伸び悩んでいる。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・特に消費意欲を高めるトピックもなく、フラットな動きである。
	公認会計士	取引先の様子	・クライアントの月次、決算状況から判断すると、建設関係は概ね利益を確保している会社が多いが、それ以外の小売り、サービス関係は売上及び利益が前年よりも減少している。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・公益エネルギー企業からの受注が激減のまま継続している。

	その他企業 [工場施設管理] (従業員)	取引先の様子	・新品種の立ち上げで忙しいようであるが、相変わらず人員削減は大変なようである。	
やや悪くなっている	農林水産業 (従業者)	受注価格や販売価格の動き	・燃料価格が次第に上昇してきている。	
	広告業協会 (役員)	それ以外	・梅雨明けはいつになるのか。雨模様の天候が続き、清涼飲料、ビールなどの売行きが鈍っていることから、広告業界も苦戦している。それに選挙が重なり、地方にはアベノミクスの効果が表れてこないのが現状である。	
悪くなっている	コピーサービス業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注の絶対量が減少し、取引も小ぶりの取引が多くなってきている。震災以降、最悪の状況である。	
雇用関連	-	-	-	
(東北)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・引き続き採用意欲はおう盛で、求人数が多い状況である。求職者側の長期志向で安定を求める傾向が強まっているため、派遣依頼は嫌われ、紹介予定派遣や紹介が好まれる状況になってきている。そういったニーズに対して、求人がそれを満たしているかといえどもなく、マッチングが進まない状況になってきている。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・米国の大手金融機関の破たん前までの状況には遠く及ばないものの、新規卒者対象の求人が増加するなど、企業の採用意欲がやや高まっている。
		職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求人数は3か月前より約10%増加しており、ややよくなっている。 ・有効求職者数は前年比で1年以上連続して減少している。
変わらない	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・今までと違った動きが出ている。今までは新卒採用で採用しきれなかった場合、中途採用で補充していた。しかし今は、中途採用で採用できない企業が新卒採用に取り組むという動きが出てきている。当県の求人倍率の高さを裏付けている動きではないか。	
	アウトソーシング企業 (社員)	それ以外	・前年と比べると震災関連の仕事が減ったためか、受注量が減っている。	
	新聞社 [求人広告] (担当者)	雇用形態の様子	・採用意欲が高まる企業が増えてきたが、正社員採用は極めて少ない。	
	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・中央での株価上昇、景気回復の影響は、周辺企業の広告出稿等ではうかがえない。	
	職業安定所 (職員)	それ以外	・有効求人倍率は20年ぶりの水準になっているものの、人員整理の情報もあり、景気が回復している実感がわいてこない。	
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年比で減少し、有効求人倍率も依然として低迷している。	
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・3か月前は当所の基幹産業である製造業の求人が減少し、変わって建設業の求人が増加したが、現在はその逆となっている。また、求人は増加しており、求職者は減少しているが、今現在、景気の上向き感はまだない。	
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数は若干減少しているものの、引き続き高水準で推移している。	
やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・今月は東北全県で選挙での出口調査業務の派遣実績があり、単月売上の10%を支えたが、前年比マイナスは解消できていない。	
	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・求人数、求職者数共に下がってきている状況である。	
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・選挙のときは求人の動きが止まるというジンクスのとおり、やや回復気味に推移していた求人数の動きが今月はやや下降している。	
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求人数は引き続き高水準を維持しているものの、前年比で減少傾向が続いていた新規求職者数は、企業整理等もありここに来て増加してきている。	
悪くなっている	-	-	-	